

**【情報提供】**  
**最上川水系流域治水プロジェクト等**  
**の取組状況について**

---

国土交通省 東北地方整備局  
令和5年2月17日

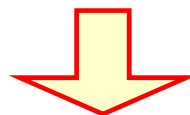
---

## － 目次 －

1. 「最上川水系流域治水プロジェクト」取組状況
2. 「最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト」取組状況
3. 「令和4年8月出水概要と最上川上流(置賜地域)緊急治水対策プロジェクト」について

# 1. 「最上川水系流域治水プロジェクト」について

令和2年7月6日とりまとめ「総力戦で挑む防災・減災プロジェクト」を踏まえ、各一級水系において、国・都道府県・市町村等で協議会を設置し、議論を進め、**令和2年度末までに「流域治水プロジェクト」の策定を進める。**



## 最上川水系流域治水プロジェクト（令和3年3月30日公表、令和4年3月31日更新）

※戦後最大規模の洪水（令和2年7月洪水含む）を安全に流すため、目標・対策・ロードマップ等を示し、あらゆる関係者の協働により防災・減災に取り組む。

### 最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト （令和3年1月29日公表）

- 令和2年7月洪水規模の再度災害防止
- 緊急的に取り組む対策を被災した地域に対して先行的に示し、地域の復興・再建を後押し

### 最上川上流（置賜地域）緊急治水対策プロジェクト （令和4年12月5日公表、12月26日更新）

- 令和4年8月洪水規模の再度災害防止
- 緊急的に取り組む対策を被災した地域に対して先行的に示し、地域の復興・再建を後押し

# 1. 「最上川水系流域治水プロジェクト」の3本柱

～地形特性を踏まえた河川整備と農業や雪対策と連携した治水対策の推進～

- 気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、**河川の流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で行う治水対策**、「流域治水」へ転換。
- 治水計画を「気候変動による降雨量の増加などを考慮したもの」に見直し、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、地域の特性に応じ、①氾濫をできるだけ防ぐ、減らす対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策をハード・ソフト一体で多層的に進める。

## 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

～最上川中流・上流緊急治水プロジェクトの推進～



河道掘削（河北町谷地地区）



堤防整備（大蔵村白須賀地区）



災害復旧（大江町左沢地区）

- ・令和2年7月豪雨洪水で被災した堤防や護岸等の災害復旧工事では、全体25箇所（国管理）全てで着手。
- ・緊急治水プロジェクトの取組で主要な対策となる河道掘削では、約25万m<sup>3</sup>の土砂掘削を工事中。

～地域の生業農業と連携した田んぼダム（水田貯留）～

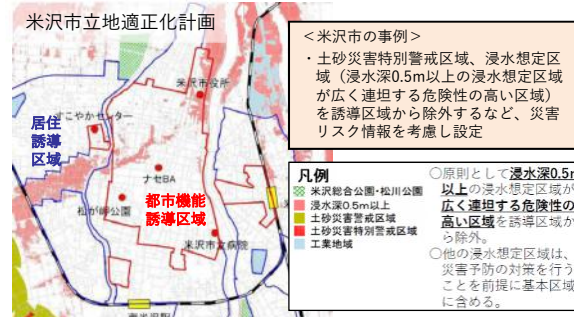


広報看板（三郷堰土地改良区）

- ・山形県の田んぼダムの取組は「東北第1位」全国でも新潟県、北海道に続く「田んぼダム先進地」。
- （田んぼダムに取り組んでいる自治体）  
鶴岡市、酒田市、新庄市、天童市、中山町、河北町、飯豊町

## 被害対象を減少させるための対策

～水害リスクを考慮した立地適正化計画及び居住誘導～



- ・立地適正化計画について具体的な取組を行っている15市町のうち、10市町で計画を作成・公表。（立地適正化計画を作成・公表した自治体）  
山形市※、米沢市、鶴岡市、酒田市、上市市※、村山市、長井市、南陽市※、中山町、白鷹町※  
※上記のうち防災指針を作成・公表した市町

～雪対策と連携した氾濫被害の軽減（高床住宅等）～



- ・雪対策と連携した高床式住宅の取組を推進し浸水時の家屋浸水被害の軽減を図っていく。

## 被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

～民間企業と連携した避難体制の強化～



AEONとの協定締結（天童市）

- ・大規模災害発生時の避難体制の強化を目的に天童市とAEONで災害協定（駐車場等利用）を締結。

～まるとまちごとハザードマップの推進～



- ・令和2年7月豪雨の記憶を風化させないため浸水被害のあった地区に痕跡看板を新設。

～講習会等によるマイ・タイムライン普及促進～



- ・コロナ禍を踏まえ少人数、地区単位での講習会を実施。



# 1. 「最上川水系流域治水プロジェクト」【位置図】

○令和2年7月豪雨により甚大な被害が発生した最上川水系では、河川整備に併せ、地域の主産業（農業等）や豪雪地域などの地域特性を踏まえた農地・農業水利施設の活用や雪対策と連携した高床化などによる対策を組み合わせた流域治水を推進することで、令和2年7月豪雨＜中上流部で戦後最大＞及び昭和44年洪水（低気圧）＜下流部で戦後最大＞と同規模の洪水に対して、国管理区間での氾濫を防止するとともに流域での浸水被害の軽減を図ります。



## 2. 最上川中流・上流 緊急治水対策プロジェクトの概要

令和2年7月豪雨により甚大な被害が発生した事を踏まえ、被災した箇所で、様々な対策を集中的に実施することにより、令和2年7月豪雨と同規模の洪水に対して、最上川からの氾濫を防止し、流域における浸水被害の軽減を図ります。

### ■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 (ハード対策)

- ・河道掘削、堤防整備、分水路整備、遊水地改良、災害復旧 等

全体事業費 約656億円  
事業期間 令和2年度～令和11年度

### ■ 氾濫対象を減少させるための対策 (流域における対策)

- ・土地利用規制(災害危険区域等)
- ・雪対策と連携した住宅の高床化への支援等

### ■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 (ソフト施策)

- ・マイタイムラインの普及促進
- ・まるごとまちごとハザードマップの促進等

令和2年7月豪雨を踏まえた

## 最上川中流・上流

緊急治水対策プロジェクト

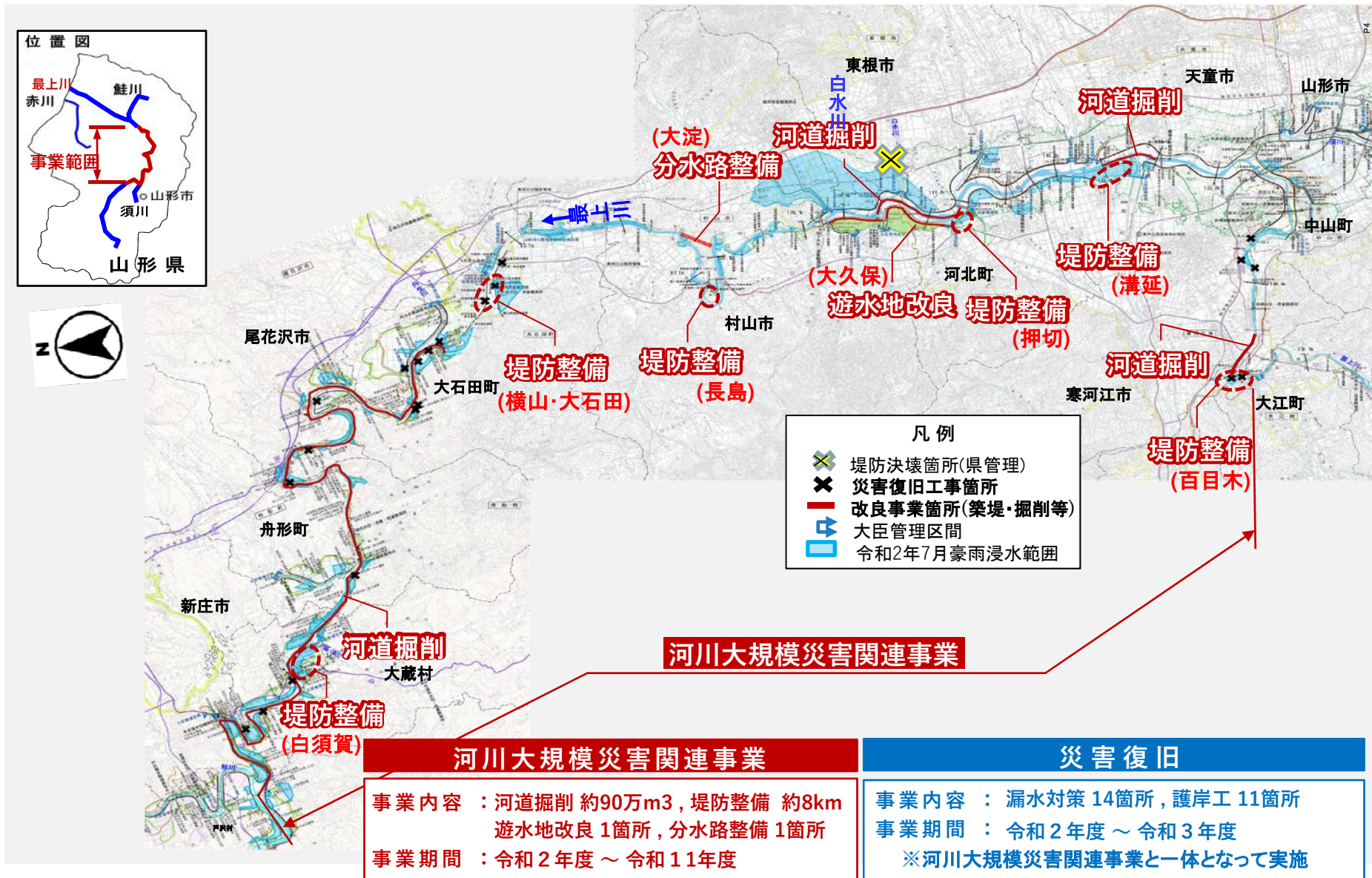


令和3年1月29日策定

最上川流域治水協議会



## 2. 最上川中流・上流 緊急治水対策プロジェクトの概要



出典:最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト

## 2. 河川大規模災害関連事業の予定

●今次洪水規模をHWL以下で流下可能となるよう、最上川上流管内では、河道掘削・樹木伐採、堤防整備等を実施。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
災害復旧		災害復旧									
河道掘削		河道掘削									
白須賀地区堤防整備		堤防整備									
横山・大石田堤防整備		設計		用地			堤防整備				
長島地区堤防整備		堤防整備									
大淀分水路整備		設計			用地		分水路整備				
大久保遊水地改良		設計		設計・用地			遊水地改良				
押切地区堤防整備		設計		設計・用地		堤防整備					
溝延地区堤防整備		設計		用地		堤防整備					
百目木地区堤防整備		設計		設計・用地				堤防整備			

※現時点の予定であり、今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

## 2. 最上川中流・上流 緊急治水対策プロジェクトの進捗状況

○令和2年7月豪雨により甚大な被害が発生したことを踏まえ、最上川中流・上流において、国・県・沿川市町村等が連携し、「最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト」を策定（令和3年1月）し、ハード・ソフト両面で治水対策を推進している。

### 最上川本川の主要事業（国）

- ・被災した施設の復旧工事は、全て完了済み。
- ・河道掘削工事は、全体計画90万m<sup>3</sup>のうち、今年度中に約51万m<sup>3</sup>（約6割）完了予定。
- ・令和2年7月豪雨洪水被害の記憶を風化させない取り組みとして、「巡回パネル展」や「まるごと・まちごとハザードマップ」等のソフト対策を実施。

#### R3 谷地地区河道掘削

施工前



掘削前(R3. 5. 18)

施工後



掘削後(R3. 11. 19)

#### R4 溝延地区まるごとまちごとハザードマップ





# 2. 最上川中流・上流 緊急治水対策プロジェクトの進捗状況

### 河道掘削

山形河川管内	新庄河川管内
調査設計 <b>100%</b>	調査設計 <b>100%</b>
工事 <b>98%</b>	工事 <b>44%</b>

(吉田地区) (清水地区)

施工前状況

R4.4.27 R4.8

進捗状況

R4.11.28 R4.12

### 白須賀地区堤防整備

調査設計 <b>100%</b>
工事 <b>100%</b>

盛土量：19千m<sup>3</sup>/19千m<sup>3</sup>

被災状況・整備予定

撮影日 (R4.5)

進捗状況

### 横山・大石田地区堤防整備

調査設計 <b>24%</b>
用地調査 <b>0%</b>
用地補償 <b>0%</b>
工事 <b>0%</b>

被災状況・整備予定

進捗状況 (第3回住民説明会)

### 長島地区堤防整備

調査設計 <b>100%</b>
工事 <b>88%</b>

被災状況・整備予定

進捗状況

R5.1.27

### 押切地区堤防整備

調査設計 <b>58%</b>
用地調査 <b>75%</b>
用地補償 <b>55%</b>
工事 <b>0%</b>

被災状況・整備予定

進捗状況

住民説明会開催状況  
令和3年12月26日  
令和4年9月12日

R4.9.1

### 大淀分水路整備

調査設計 <b>50%</b>
用地調査 <b>0%</b>
用地補償 <b>0%</b>
工事 <b>0%</b>

被災状況・整備予定

進捗状況

環境調査(鳥類)実施状況

R4.8.1

### 大久保遊水地改良

調査設計 <b>58%</b>
用地調査 <b>0%</b>
用地補償 <b>0%</b>
工事 <b>0%</b>

被災状況・整備予定

進捗状況

現地確認状況

R4.9.2

### 溝延地区堤防整備

調査設計 <b>75%</b>
用地調査 <b>0%</b>
用地補償 <b>0%</b>
工事 <b>0%</b>

被災状況・整備予定

進捗状況

住民説明会開催状況  
令和3年5月9日  
令和3年12月13日～26日

R3.5.9

### 百目木地区堤防整備

調査設計 <b>58%</b>
用地調査 <b>0%</b>
用地補償 <b>0%</b>
工事 <b>0%</b>

被災状況・整備予定

進捗状況

住民説明会開催状況  
令和3年4月23日、5月18日  
令和3年12月9日  
令和4年7月5日

R4.7.5



# 3. 令和4年8月出水概要と最上川上流(置賜地域)緊急治水対策プロジェクト

## 被害状況

- **国管理区間**では、堤防からの**越水が1箇所**(長井市河井山地区)、**溢水が4箇所**(米沢市上新田地区、大江町百目木地区、河北町溝延地区押切地区)が発生しました。
- **県管理区間**では、**溢水が5箇所**(誕生川[米沢市広幡町上小菅]、元宿川[川西町西大塚]、小白川[飯豊町小白川]、菘生川[飯豊町菘生]、市の沢川[大江町左沢])発生しました。



溢水: 田畑等約12ha

古佐川

最上川

いっすい 溢水 おしきり [河北町押切地区]

越水: 田畑等約1.2ha

かわいやま [長井市河井山地区] (氾濫発生情報発表箇所)

溢水: 田畑等約4ha

いっすい 溢水 かみにいだ [米沢市上新田地区]

最上川

いっすい 溢水 みののべ [河北町溝延地区]

溢水: 家屋1戸、田畑等約100ha

最上川水系 最上川 左岸 135.0m

最上川

山形県大江町左沢 最上橋

いちのさわがわ おおえまち 市の沢川(県管理) (大江町)

溢水: 床上1戸、床下2戸、田畑等約1.9ha

最上橋

溢水: 床上7戸、床下3戸、田畑等2.6ha

はぎゆうがわ いいでまち 菘生川(県管理) (飯豊町)

溢水: 家屋14戸、田畑等約27ha

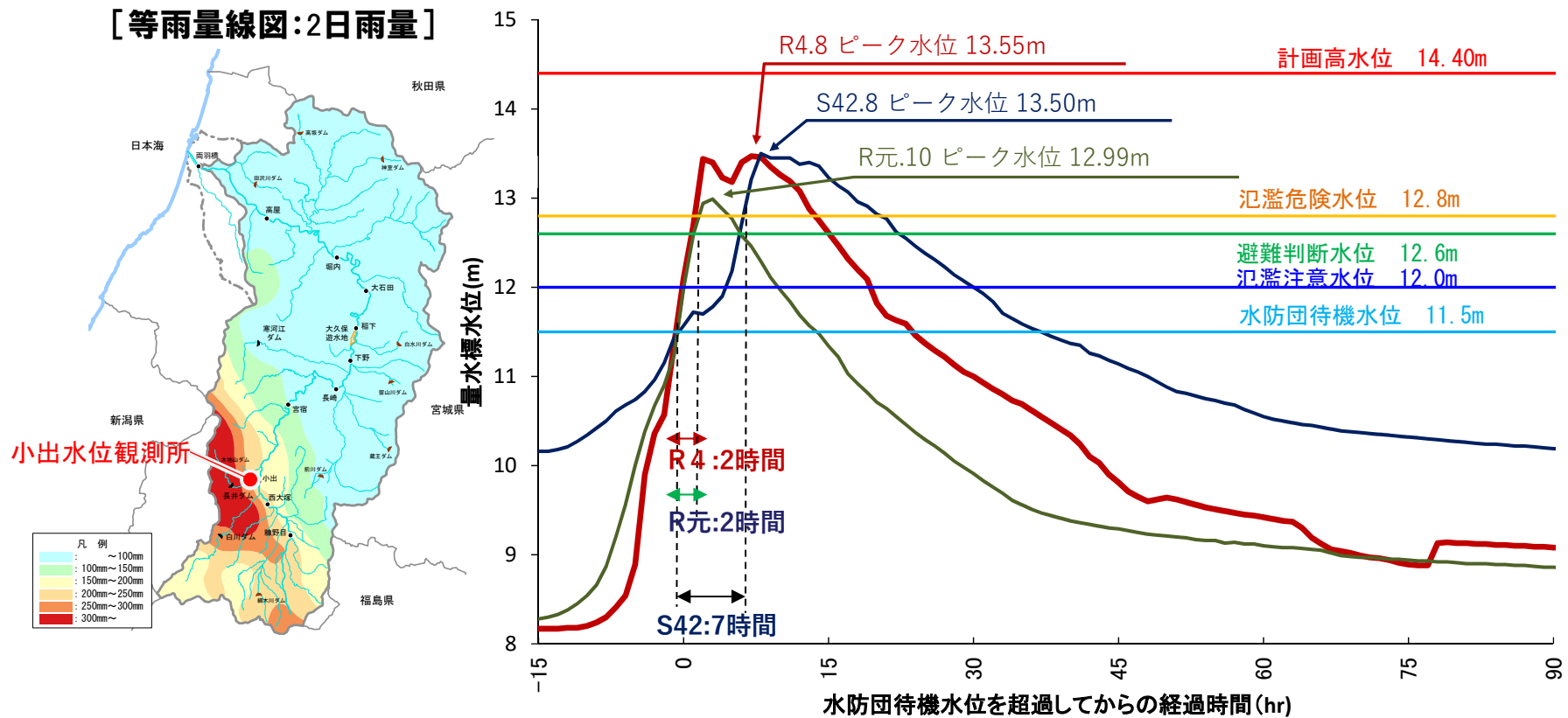
こしらかわ 小白川(県管理) (飯豊町)

溢水: 家屋6戸、田畑等約32ha

# 令和4年8月出水時の急激な水位上昇

長井市にある小出水位観測所における、近年の出水(令和4年8月, 令和元年10月)と昭和42年8月(羽越豪雨)の水位を比較したところ、水防団待機水位から氾濫危険水位までの経過時間は、昭和42年8月(羽越豪雨)の約7時間と比較して、令和4年8月及び、令和元年10月は約2時間と短く、水位の上昇速度が早くなっていることが確認できる。

小出水位観測所 水防団待機水位から氾濫危険水位までの経過時間  
 令和4年8月, 令和元年10月, 昭和42年8月(羽越豪雨)出水時の比較

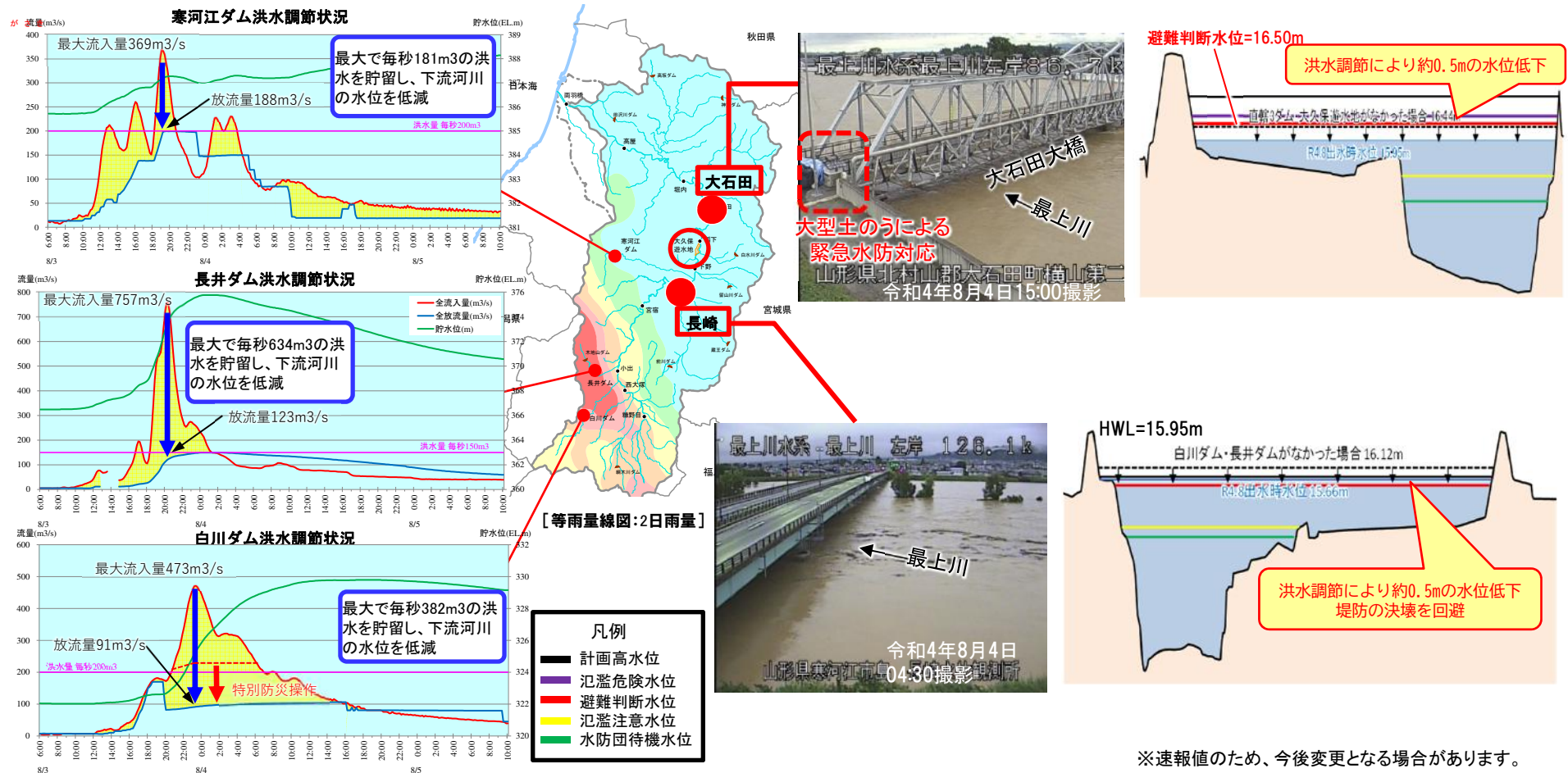


※速報値のため、今後変更となる場合があります。 11



○最上川上流ダム群の白川ダムの特別防災操作と長井ダムの洪水調節の効果により、河口から126kmに位置する長崎地点において約0.5mの水位低減効果を発揮しており、2ダムがなかった場合、計画高水位を超過し、堤防が決壊する恐れがあったと想定。

○さらに、40km下流の大石田地点においても、上記2ダムに加え、寒河江ダムの洪水調節、大久保遊水地の貯留効果により、約0.5mの水位低下が図られ、避難判断水位を回避することができたと推定。



※速報値のため、今後変更となる場合があります。

# 「最上川上流(置賜地域)緊急治水対策プロジェクト」

- 令和4年8月出水により最上川上流部で甚大な被害が発生したことから、再度災害防止のための「最上川上流(置賜地域)緊急治水対策プロジェクト」を策定し、対策に着手します。

- 事業期間 令和4年度～令和7年度
- 事業費 約102億円【国:約21億円、県:約81億円】
- 目標 令和4年8月出水と同規模の洪水を安全に流下させ、内水等の浸水被害の軽減を図る。

## ■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 河川区域での対策
  - ・災害復旧※、白鷹地区・川西南陽地区で河道掘削を実施【国】 ※最上川上流の全域を対象
  - ・災害復旧、河道掘削等【県】
- 集水域での対策
  - ・内水調整池の整備【高島町】
  - ・準用河川の堤防整備及び河道掘削【川西町】
  - ・田んぼダムの推進【長井市他】

## ■被害対象を減少させるための対策

- 氾濫域での対策
  - ・立地適正化計画の作成及び立地適正化計画に基づく安全な場所への居住誘導等【高島町】

## ■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 氾濫域での対策
  - ・避難確保計画作成支援【米沢市他】
  - ・まるごとまちごとハザードマップの促進、マイ・タイムラインの普及促進【長井市他】
  - ・防災ラジオの普及、災害情報ツールの多重化【南陽市他】



※具体的な対策内容やスケジュールについては、今後の調査・検討等により変更となる場合があります

# 「最上川上流(置賜地域)緊急治水対策プロジェクト」

## <事業スケジュール>

緊急治水対策(R7年度まで)

		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削(国)		約14万m <sup>3</sup> 完了		
	河道掘削等(県)		浸水箇所、支川の掘削完了		
	災害復旧(国) ※最上川上流の全域を対象		災害復旧完了		
	災害復旧・河道整備(県)				
	内水調整池、準用河川の堤防整備等(市町)				
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画の作成による安全な場所への居住誘導等(市町)				
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化(市町)				
	水害リスク情報の充実と復旧(市町)				

※具体的な対策内容やスケジュールについては、今後の調査・検討等により変更となる場合があります

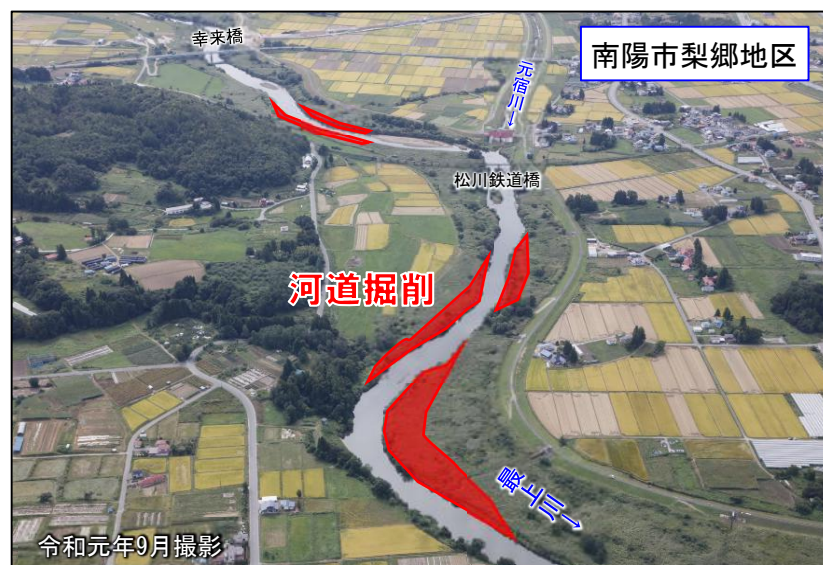


# 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

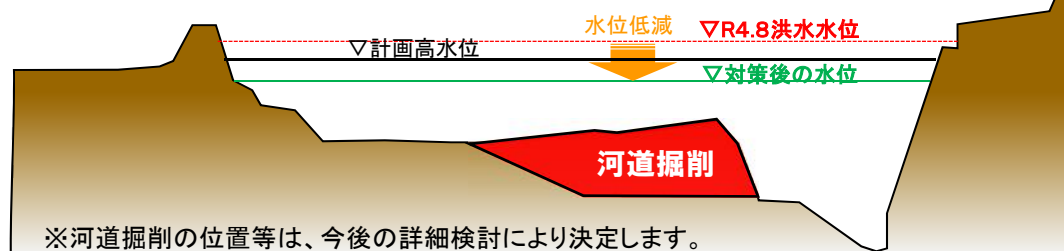
【梨郷地区・鮎貝地区】

## 河道掘削(国)

○最上川本川の河川水位を低下させるため、西置賜郡白鷹町鮎貝地先～南陽市梨郷地先で約14万m<sup>3</sup>の「河道掘削」及び「樹木伐採」を実施。



### 【河道掘削のイメージ】





河道掘削の配慮事項イメージは、

- 平水位以上を基本とし、緩い勾配での掘削、凹凸など工夫する。
- 外来種の優先伐採、ワンド・たまり等の保全。
- 重要種の生息・生育・繁殖環境に配慮し影響の回避、低減に努め、必要に応じて代替措置を行う。

河道掘削の施工にあたっては、

- 施工時期、施工方法等に配慮し、濁水の発生を極力抑えながら実施する。

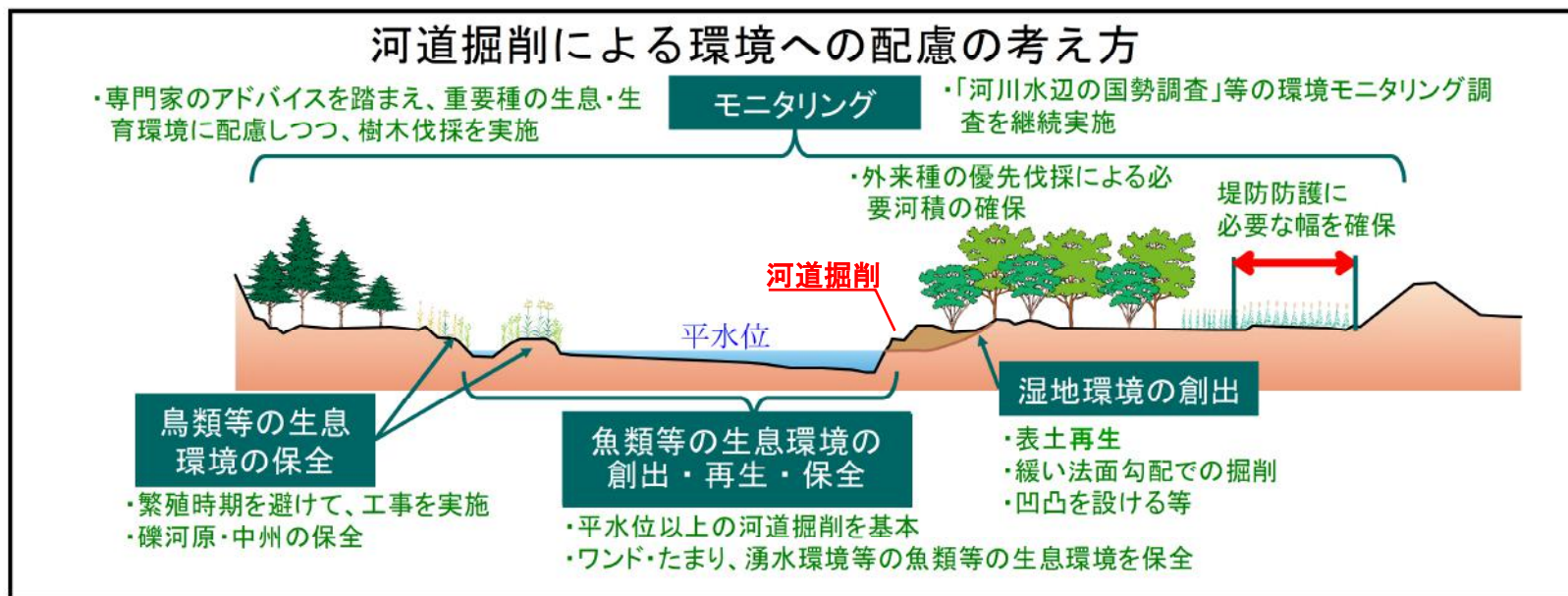


図 5-29 河道掘削環境配慮イメージ図

## 最上川の支川における対策(県)

### 河道掘削等

#### 1. 目的

- ・支川の河川水位を低下させるため、河道掘削を実施。
- ・出水による堆積土砂を撤去し、流下能力を確保する。

#### 2. 取組

置賜白川や元宿川など、県が管理する支川の河道掘削等を実施する。

事業期間：令和4年度

【河道掘削のイメージ】



※河道掘削の位置等は、今後の詳細検討により決定します。



### 災害復旧

※今後、災害復旧費用が確定した段階で、事業費が追加されることとなります。

#### 1. 目的

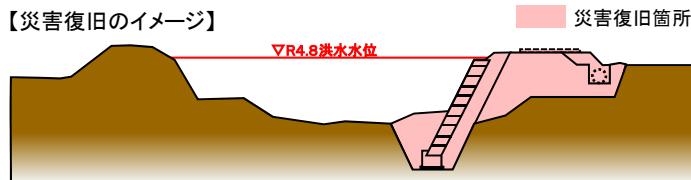
豪雨に伴い被災した河川管理施設(護岸、護床など)の早期復旧を図る。

#### 2. 取組

犬川や置賜白川など、県が管理する支川において、災害復旧を実施する。

事業期間：令和4年度～令和6年度

【災害復旧のイメージ】





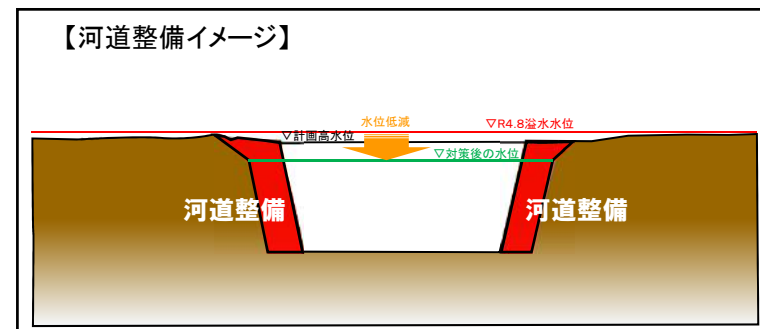
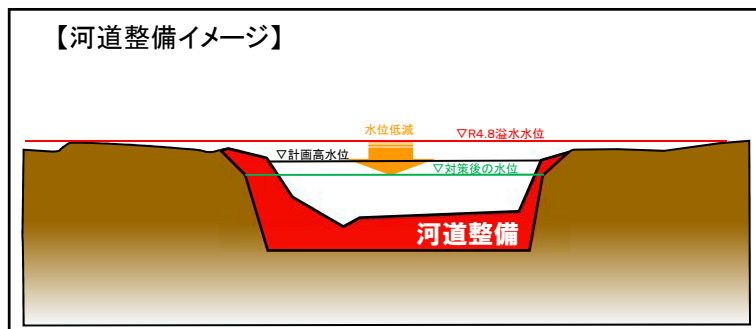
# 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【飯豊町】

## 最上川の支川における対策(県)

## 災害復旧(河道整備)

- 原形復旧のみでは事業効果が限定されることから、河道拡幅や河床掘削等の災害復旧（河道整備）を行うことで流下能力を向上させ、再度災害防止を図る。
- 事業期間：令和4年度～令和7年度



※位置や掘削形状については、今後の調査や設計によって変わる場合があります。

## 開催趣旨

- ▶ 近年の気候変動による大規模水害の頻発化により、最上川上流（置賜地区）で今後実施していく流域治水の取組について置賜の3市4町が連携してどのように取組んでいくか等について、村山地域における流域治水取組現場視察及び東北地方整備局 河川計画課長を講師に招き、意見交換した。

## 日時等

■日時：令和4年12月19日（月） 13:30～16:00

■場所：河川防災ステーション 2F 会議室

- ・開会
- ・主催者あいさつ（長井市長）
- ・流域治水勉強会 講話（東北地整 河川計画課長）
- ・村山地域における流域治水取組現場視察  
視察箇所：水防災拠点整備（中山町）、田んぼダム（天童市）、工業団地側溝改修（河北町）、大旦川調整池・大久保遊水池（村山市）
- ・意見交換会

## 主な意見

- ◆8月の洪水では、山間部から流出した土砂や流木が、橋梁に引っかかり浸水した。河川整備と併せて山の適正な管理も必要であると感じている。
- ◆河道内の樹木再繁茂対策等に感謝。今後、田んぼダムの取組を進めたいと考えているが実施方法や効果など、現場を見て大変参考になった。
- ◆8月の洪水を踏まえ、地域から流域の視点で置賜地域の流域治水を関係者と連携して進めてまいりたい。
- ◆水災害に強いまちづくりのための、より実行的な取組みに向けて、これからもしっかりと勉強しながら頑張っていきたい。

## 出席者

### ■自治体

長井市長	内谷 重治
米沢市長	中川 勝
高畠町長	高梨 忠博
白鷹町長	佐藤 誠七
飯豊町 副町長	高橋 弘之
南陽市 副市長	大沼 豊広
川西町	

### ■国・山形県

東北地方整備局  
 ・河川計画課長 川面 顕彦  
 ・山形河川国道事務所長 橋本 裕樹

山形県（現地視察）  
 ・県土整備部 河川課  
 ・村山総合支庁

## 開催状況



内谷 長井市長 挨拶



意見交換の様子



川面 河川計画課長 講話



取組事例（田んぼダム）の現場視察



取組事例（側溝改修）の現場視察



取組事例（大旦川関連）の現場視察



# 最上川水系置賜地域における「流域治水」取組状況

➤ 河川管理者による河川整備の促進を図るとともに、総合的な浸水対策を講じたまちづくりと、「農業分野」の流出抑制による連携強化で浸水被害の軽減を図る。

